

# 自民党



## 顧客志向性を持った持続可能な市政のために

自由民主党は厳しい姿勢で東日本大震災から3年を経て鎌倉市として大災害や危機が起こった際に鎌倉市民の生命と財産を守るため、自衛隊を初め国や県との協力体制の構築、避難施設の整備を求めました。特に学校現場における児童の避難体制、保護者・地域との連携を整えるべきと市長、教育長に訴えました。また、今泉砂押川沿いの道路拡充については防災の観点からも速やか実現するよう強く迫り、着工がいよいよ今年度より始まります。

続いて教育行政では、子どもを社会全体で守るためにいじめ110番の運用状況確認とともに新年度においても子どものSOSを決して見逃さず、いじめは犯罪であること徹底し、教育委員会が策定した「いじめ対応指針」を評価し、さらに「いじめ禁止条例」へと昇華するように提言をいたしました。

また教育環境として昨今の温暖化を踏まえて「空調設備の実現」を子供の学業向上に資するため市債発行も視野に計画前倒しの実現検討を求めました。子育てに関して市として持続可能な行政運営の観点からも勤労子育て世代を重点的に支援し、具体的には保育所の充実、小児用予防接種の補助拡大、中学校給食の導入、ひとり親家庭への支援を優先的に取り組む要請に対し市

# 鎌倉みらい



## 鎌倉の未来を創る長期的視野に立った予算を

鎌倉みらいは、今、市民にとつて本当に必要な予算か、また長期的な視野に立つて持続可能な鎌倉市を実現するために必要な予算かを視点として予算審査に臨み、一般会計予算外諸議案に対して賛成しました。平成26年度は、第3期基本計画のスタートの年であり、新たな取り組みとして包括予算制度が導入され、より事業の選択と集中が図られた点は評価するものです。

**●新たに設置する公共施設**  
新たに設置する公共施設については、新規単独施設の整備は行わない、トータルコストの50%削減、施設の複合化、地域ごとの施設の在り方の見直しなど、既に示されている公共施設マネジメントの大方針に沿い、長期的視野に立った計画推進が必要と考えます。

**●市民活動支援の充実**  
多様化する市民ニーズに対応し、より良い公共サービスを提供するためには、専門知識のある市民と行政とが相互に知恵を出し合って、新しい行政の在り方を形成する取り組みが重要です。そのためには、市民活動団体を育てる仕組みづくりと充実が必要であることを指摘しました。

**●地域コミュニティ推進事業**  
近年の核家族化や少子高齢化の進展に伴い、地域のつながりが希薄になる中で、3・11をきっかけに、地域のつながりや共助の大切さが再認識

# 公明党



## 興譲の精神で市民の信頼に足る市政運営を！

公明党鎌倉市議会議員団は、市長がごみ有料化条例を撤回し、訂正された一般会計予算外諸議案に対し、市民の浄財を大切に市民サービスに生かすよう強く求め、賛成いたしました。

**●防災・減災について**  
「国土強靱化地域計画」の策定・責務が求められ、本市としての取り組みについて資する点とともに避難所への誘導・津波避難誘導標識の在り方について提言。

また、市民生活の安全・安心のステーションとしてのコンビニ連携や防犯灯のLED化の推進を図るよう指摘しました。

**●健康・福祉について**  
生命をむしばむがん対策として検診受診のコール・リコールが有効策であることを指摘し、自殺につながる心の病については、「メンタルヘルスプロジェクト」を展開するよう求めました。

さらに、レセプト・健康情報を活用したデータヘルスの推進を図るよう求めました。

また、超高齢社会を迎えた本市において住み慣れた地域でお年寄りや障害者が生涯安心して住み続けられるよう保健・医療・介護の連携を図る「地域包括ケアシステム」の推進を求めました。

そして、本年7月開設の成年後見センターの周知を図るとともに「障害者総合支援法」

# 実現する会 鎌倉



## NOと言える改革を！

**●この国の現状**  
皆さんは今、日本という国の現状を、どのように認識されていますでしょうか？

次の世代に、今日と同じ明日が来ると、約束することができるとは思いませんか？

その答えは、残念ながら「ノー」と言わざるを得ない状況にあると思います。

皆さんは今いくら、ご自分が国の借金を背負っているか、ご存知でしょうか？

国の借金は、平成26年度末に最大で、1143兆円になります。これを総人口1億2722万人で単純に割ると、1人当たり約900万円の借金を背負っていることとなります。

このように膨大な借金を抱えた日本、その中で超高齢化・人口減少時代に突入してゆく今、これまでと同じ認識でいたら、この国は完全に生き残れなくなるのが現実だと思います。

また、新たな放課後子ども教室や29年度実施を目指す中学校給食の実施計画についていただきました。

**●ごみ問題について**  
ごみ処理は、市民が安心して生活を営むための根幹をなす行政の責務です。行政は本市の状況に鑑み、速やかに市民のために安定したごみ処理施策を講じる責務があり、同時に本市の将来にわたるビジョンを示すべきです。

本市の行政計画は市民不在の施策であり、容認できません。

ことになりました。

**●常識を覆す改革を**  
先ほど述べました国の状況をみてもわかるとおり、改革をしなければ、鎌倉の街も生き残れなくなります。

改革するには、政治的意思と決断を持って進まなければ、その成果は見えてきません。松尾市長には、ぜひゆるぎない政治的意思と決断を持って、26年度は一歩進んでいただきたいと思っております。

今ポイントを切り替えて、進む方向を変えなければ、完全に手遅れになります。

未来を見据えて、26年度は、常識を覆すような改革のスタートを切っていただくために、松尾市政に次の言葉を送りたいと思います。

**●ステイプ・ジョブスの言葉**  
一方向を間違えたり、やり過ぎたりしないようにするには、まず「本当は重要でも何でも無い」千のことに「ノー」と言う必要がある。安全にやろうと思うのは、一番危険な落とし穴なんだ。最も重要な決定とは、何をするかではなく、何をしないかを決めることだ。

次にどんな夢を描けるか、それがいつも重要だ。海と山の美しい自然環境と豊かな歴史的遺産をもつ古都鎌倉を、政治的意思と決断を持って改革し、次世代にツケを残さず引き継いでいただきたいと思っております。